

会議録

会議の名称	令和7年度第2回加東市総合教育会議
開催日時	令和7年12月22日（月）午後4時00分から午後5時20分まで
開催場所	発達サポートセンター 2階 多目的室
出席及び欠席委員の氏名	出席及び欠席委員の氏名 <出席委員> ・市長 岩根正 ・教育長 藤原路寛 ・教育委員 田中寿一、後藤純子、岸本恵一、別惣裕美子 <欠席委員> なし
説明のため出席した者の職氏名	説明のため出席した者の職氏名 なし
出席した事務局職員の氏名及びその職名	出席した事務局職員の氏名及びその職名 ・副市長 小林勝成 ・教育総務課長 西山英希 ・生涯学習課長 松本裕介 ・こども未来部長 近澤孝則 ・学校教育課副課長 中山庸平 ・小中一貫教育推進室長 高田篤 ・こども教育課長 長谷川貴子 ・企画政策課長 岸本純子 ・企画政策課主査 仲井智紀 ・教育振興部長 鈴木敏久 ・学校給食センター所長 芹生祥子 ・中央図書館長 藤田智架子 ・こども未来部参事兼学校教育課長 井上裕子 ・学校教育課主任 石井真史 ・こども未来部参事兼発達サポートセンター所長 藤原良二 ・まちづくり政策部長 藤原英樹 ・企画政策課副課長 丸山耕市
1 議題	1 議題 (1) 第3期加東市教育大綱（素案）について…資料1 (2) かとう夢授業について…資料2 (3) その他
2 会議の結果及び経過	2 会議の結果及び経過 ⇒別紙「令和7年度第2回加東市総合教育会議・会議の結果及び経過」のとおり

(別紙) 令和7年度第2回加東市総合教育会議・会議の結果及び経過

発言者	会議の結果及び経過 / 発言内容
事務局	<p>1 開会</p> <p>2 市長あいさつ</p> <p>3 協議</p> <p>(1) 第3期加東市教育大綱（素案）について まずは内容について事務局から説明します。</p>
	<p style="text-align: center;">資料1に基づき事務局から説明</p>
司会	<p>本協議事項について、ご意見などありますでしょうか。</p>
委員	<p>教育大綱と教育振興基本計画の方向性が一致していることは大変良いことだ と思う。教育委員会だけでなく、市を挙げて教育の振興に取り組んでいくことで 効果が高まると思う。</p> <p>ただ、時代の流れは非常に早く、例えば生成AIの活用について、日本は調査 対象国の中で下位という調査結果を目にした。5年に1回の大綱の見直しでは対 応が遅れる可能性がある。骨子は5年ごとの見直しでも、内容については年度ご とに細かく見直すことが大事だと思う。</p>
事務局	<p>教育振興基本計画との整合性を図るため、大綱の見直しについては5年に1回 とするが、新しいことは事務や事業の中ですぐに対応していく。</p>
委員	<p>改めて加東市は教育に力を入れており、子育てしやすいまちだと強く感じる。 はぴあや各児童館の事業による手厚いサポート、給食センターの健康を考え、季 節感を感じる献立、小中一貫校の整備など、他の自治体と比べても進んでいると 思う。</p> <p>教育大綱の内容は十分充実していると思うが、これだけ手厚い支援を用意して いることを、市内外の若い世代にどれだけ伝えられているかが気になる。これか らはアピールすることが大事になってくると思う。</p>
事務局	<p>シティプロモーションについては、更に力を入れる必要があると認識している。</p>
委員	<p>令和3年から令和6年の間に加東市文化連盟および美術協会の参加人数が 1,000人近く増えているのは素晴らしいことだと思う。ただ、おそらく年配 の方の参加が中心だと思う。</p> <p>また、今後、部活動が地域に展開していく中で、文化部が置き去りにならない ような施策に取り組んでいただけたらありがたい。</p>
事務局	<p>連盟の会員については高齢化が進んでおり、若い世代も取り込むためのイベン ト等も取り組んでいる。部活動の地域展開については、担当部署から説明を受け、 前向きに検討する意識を持ってもらっている。</p>
委員	<p>前回の大綱にもあった小中一貫校の推進が着実に前に進んでおり、成果が目 に見えることは本当に良いことだと思う。加東市内全ての子どもたちが小中一 貫教育を受けられることが加東市の魅力だと思う。系統性・連続性のある教育の</p>

	<p>中で、学力だけでなく精神面や健康面についても良い成果が現れることを期待している。</p> <p>また、自立という言葉について、支援を受けた上での自立ということを意識して、優しい表現を検討いただきたい。</p>
事務局	<p>表現については、教育振興基本計画と整合を図りながら検討する。</p>
教育長	<p>教育大綱と教育振興基本計画の整合性が取れており、事務局や教育委員会が同じ方向を向いて教育を進めていることは良いことだと思う。</p> <p>基本方針については、県教委の方針を参考にしつつ、加東市の特色を出していると思う。基本方針Ⅰでは、第2期の小中一貫教育の推進から第3期は充実となっており、令和8年度から12年度にかけてより深めていきたいと考えている。基本方針Ⅱでは、ソフト面とハード面の両方から子供の学びを支える教育環境の整備が重要だと思う。基本方針Ⅲの生涯学習の充実は、県教委ではあまり取り上げられていないが、地域の子どもは地域で育てるといふ思いのもと、加東市としては重要度が高いと認識している。</p> <p>豊かな心の育成やインクルーシブ教育の充実については、いじめや不登校への対応、取り残しのない教育のために関係機関との連携を図り、多様な子供たちへの支援をしながら、その子らしく自立させることが重要だと思う。また、兵庫教育大学との連携も大事にしながら、教員の研修を深めていきたいと思う。</p>
市長	<p>大綱に書いてある項目は、加東市の特徴を踏まえて、形としては整っていると思う。</p> <p>ただ、目標が達成できているか、現場が動けるかと考えると、まだまだ工夫や努力が必要だと思う。教育には終わりがなく、まだまだ足りないという認識がある。</p> <p>取り組めることから取り組みたいと思っている。全てを完璧にするのは現実的ではないが、取り組むことについては、徹底的に取り組む覚悟で進みたいと思う。</p> <p>そのときに教員が重要になると思う。だからこそ教員を育成する必要があると思う。少しでも事務的に楽になり、子どもたちに目をかけてほしいし、自信も勉強してもらいたい。生成AIの話も、使う技術だけでなく、倫理観が大事で、それを子供たちにどう教えるかは手探りだと思う。</p> <p>教員が勉強できる環境を教育委員会と市でしっかり作ることが重要だと思う。</p>
事務局	<p>(2) かとう夢授業について まずは内容について事務局から説明します。</p> <p>資料2に基づき事務局から説明</p>
司会	<p>本協議事項について、ご意見などありますでしょうか。</p>
委員	<p>かとう夢授業は素晴らしい取り組みで、長く続けていただきたい。</p> <p>先日話をした子どもがマラソン大会に向けて下校中に走って練習していると言っていた。後日結果を聞いたら、30何番だったが、自分では頑張ったと思うと話していた。1番だけが素晴らしいのではなく、自分が満足できるくらい努力することが大事だと思う。子どもの意欲ややる気を支えるような夢授業に取り組んでほしい。</p> <p>年齢や置かれている状況によって夢は違うので、学年ごとに内容を精査しながら続けていただきたい。プロ野球選手やプロ棋士のように一つの夢を達成できる</p>

	<p>子はほとんどいない。夢破れて次から次へと夢を移っていくのが普通だと思う。次から次へと夢を追いかけられることが重要だと思う。低学年から色々な種をまき、学年が進むにつれてより専門的なことに繋げていけるような夢授業にしてほしいと思う。</p> <p>また、夢からこぼれ落ちそうな子どもに夢を持たせることも大事だと思う。不登校の子は社会からの疎外感があると思う。そのような子どもが社会と繋がるような体験をすることで、取り残されていない感じることができると思う。様々な子どもたちを対象に、どのような夢を持ってもらうかという視点で夢授業を考えていただきたい。</p>
事務局	<p>講師からは、苦しい経験や辛いことを乗り越えた話もあり、それを聞くことで勇気が出たり、諦めない気持ちや違う夢に向かうこともできると思う。</p>
委員	<p>天体観測の授業では、親子で望遠鏡を手作りして観測することというので、子どもだけでなく保護者も一緒に参加できるのは、家族で共通の体験ができる良い機会だった。</p> <p>今後、図画工作や体育など、親子で体験できる授業があると良いと思う。夢授業という形で親も体験することで、子供時代には感じなかった興味や関心を持つ機会になると思う。それが生涯学習のきっかけになれば、子どもだけでなく親世代にも価値のある授業になると思う。</p> <p>また、講演会の様子はリモートでも見れるようになってるのか。</p>
事務局	<p>中学生を対象にした講演会については、リモートでつないで聞いている子どももいたと聞いている。</p> <p>親子で参加できる機会については、図画工作で実現できれば良い機会になると思う。</p>
委員	<p>天体観測の授業を受けた後、子どもたちは実際に夜に星座を見上げているのではないかと思った。山にもいろんな登り方があるように、先生の教え方と講師の教え方では違いがあり、子どもたちの感じ方も違うと思う。</p> <p>スティールパンの演奏会では、叩いたものによって音が異なるという体験から、素材や形状に興味を持ち、学習意欲にもつながると思う。</p>
委員	<p>子どもたちは、プロの技術や知識を、自分の目で実際に見て触れて、感動し、新しいことに気づくという心が動く授業を体験していると思う。夢が増えたという子どもたちを育むために、夢授業が大切な役割を果たしていると思う。この活動は今後も続けていただきたい。</p> <p>また、実施直後のアンケートだけでなく、卒業時に夢授業がどのような影響を与えているのかを聞いてみたいと思った。</p>
事務局	<p>実施直後のアンケートでも様々なことが分かるが、卒業時点という観点も興味深いと思う。</p>
教育長	<p>サッカーの指導を見学したが、子供の目が違うように感じた。この人に教えて欲しいという気持ちを感じた。</p> <p>何のために練習しているかを常に意識させていたので、意識改革になったと思う。子どもにとって良かったし、教師が指導のポイントを学んでいたのも良かったと思う。</p> <p>学習を深めることや技術を高めることも大事だが、子供の本来の目的である夢</p>

<p>市長</p>	<p>に向かう力を考えると、社会に貢献している方の話や地域作りをされている方の話など、活躍している人の話を聞くことも大切だと思う。中学生であれば、将来、地域やまちに貢献することに繋がることを期待している。</p> <p>夢授業のねらいが先生方に浸透し、順調に進んでいると思う。授業時間とのバランスがあるので難しいが、工夫することで、少しずつ増やしていきたいという思いを持っている。</p> <p>まず、プロが持っている知識や技術を吸収することが一つのねらいだと考えている。スポーツが分かりやすく、子どもたちにとって大きな成長のベースになると思う。もう一つのねらいは、憧れの醸成や精神性を感じ取ってもらうことだと考えている。</p> <p>知識だけで終わるのではなく、子どもたちの世界が広がることが大事だと思う。アンケートで前向きな回答が多かったから良かったという話でだけではないと思う。一部の生徒でも、強い興味や関心を感じてもらいたいと思っている。</p> <p>1人の子どもが周りの子どもに大きな影響を与えていると思っている。だからこそ、少数でも、夢授業から興味を持って一生懸命努力する姿が、周りの子にも影響を与えている。特に中学生の年代は、興味を持ったら伸びると思う。少数の子どもでも、強いインパクトを与えられたらと思う。</p> <p>かとう夢事業 plus については、親も対象としてみてはという提案があった。子どもたちを育てるのは親も大事だと思う。子どもに目標を持ってもらうために、親にも興味を持ってもらうことが大事だと思う。実際、興味を持って聞きかれていたのでも、子どもへ良い影響が出ると思った。</p> <p>興味を持ったものを伸ばしていくきっかけとなる機会を増やすため、大事に取り組んでいきたいと思う。</p>
<p>司会</p>	<p>(3) その他 全般通じて、何かございますか。</p>
<p>市長</p>	<p>部活動が地域に展開することで、生け花など、学校の部活動では体験できなかったことが体験できようになることが期待できる一方で、この周辺の地域では、プロチームがあるような都市部と比較して十分に環境が整っていないという側面もある。</p> <p>前例もなく、国から明確な基準も示されていないため、手探りで取り組んでいる状況で、プラスになる面と課題となる面の両方の視点から、この地域展開を見守っていただきたいと思っている。工夫次第で良い形を作れる可能性もあると思うので、一生懸命取り組んでいきたいと思う。</p> <p>4 閉会</p>